報　　告
令和元年9月12日

応急補強工事後のＩｓ値再調査の結果

＜応急補強工事前＞

学校名	建物名称	棟番号	のべ床面積	建築年度	1階Is値 X方向	1階Is値 Y方向	2階Is値 X方向	2階Is値 Y方向	3階Is値 X方向	3階Is値 Y方向	応急補強工事の内容
奈良高校	管理特別教室棟	1	2, 605	s39	0.47	0.37	0.35	0.48	0.57	0.32	・1階～3階の極脆性柱6本にスリット工を実施 ・階段室の窓等の一部開口部を閉塞し壁にして強度を向上
大宇陀高校	普通教室棟	3	1, 900	s43	0.30	0.71	0.35	0.87	0.56	1.45	・1～3階の袖壁付き極脆性柱6本にスリット工を実施 ・階段室の窓等の一部開口部を閉塞し壁にして強度を向上
王寺工業高校	教室等	2	2, 196	s37	0.54	0.70	0.56	0.92	0.67	1.27	・廊下の窓等の一部開口部を閉塞し壁にして強度を向上
王寺工業高校	屋内運動場	21,25	989	s39							・2階の3本の柱にコンクリート増し打ちで補強

	ｿﾞｰﾝXa 長辺壁柱	ｿﾞｰﾝXbc 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝXd 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝYa 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝYb 壁中部柱	ｿﾞｰﾝYc 長辺壁柱	ｿﾞｰﾝYd 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝYe 増築部壁
2階	1.01	0.93	0.58	3.00	2.03	0.79	1.04	
1階	1.17	0.82	1.32	1.88	1.26		1.02	2.20

＜応急補強工事後＞

学校名	建物名称	棟番号	のべ床面積	建築年度	1階Is値 X方向	1階Is値 Y方向	2階Is値 X方向	2階Is値 Y方向	3階Is値 X方向	3階Is値 Y方向	Is値再調査結果
奈良高校	管理特別教室棟	1	2, 605	s39	0.47	0.37	0.37 (+0.02)	0.58 (+0.10)	0.57	0.72 (+0.40)	・最弱点部分であった3階Y方向のIs値は、「0.32」から「0.72」となり、「0.40ポイント」の改善。 ・2階X方向のIs値は、「0.35」から「0.37」となり、「0.02ポイント」の改善。 ・2階Y方向のIs値は、「0.48」から「0.58」となり、「0.10ポイント」の改善。 ・最小Is値は「0.32」から「0.37」となり、「0.05ポイント」の改善。
大宇陀高校	普通教室棟	3	1, 900	s43	0.37 (+0.07)	0.71	0.45 (+0.10)	0.87	0.63 (+0.07)	1.45	・最弱点部分であった1階X方向のIs値は、「0.30」から「0.37」となり、「0.07ポイント」の改善。 ・2階X方向のIs値は、「0.35」から「0.45」となり、「0.10ポイント」の改善。 ・3階X方向のIs値は、「0.56」から「0.63」となり、「0.07ポイント」の改善。 ・最小Is値は「0.30」から「0.37」となり、「0.07ポイント」の改善。
王寺工業高校	教室等	2	2, 196	s37	0.62 (+0.08)	0.70	0.61 (+0.05)	0.92	0.69 (+0.02)	1.27	・最弱点部分であった1階X方向のIs値は、「0.54」から「0.62」となり、「0.08ポイント」の改善。 ・2階X方向のIs値は、「0.56」から「0.61」となり、「0.05ポイント」の改善。 ・3階X方向のIs値は、「0.67」から「0.69」となり、「0.02ポイント」の改善。 ・最小Is値は「0.54」から「0.61」となり、「0.07ポイント」の改善。
王寺工業高校	屋内運動場	21,25	989	s39							・最弱点部分であった2階短辺壁柱のIs値は、「0.58」から「0.77」となり、「0.19ポイント」の改善。 ・最小Is値は「0.58」から「0.77」となり、「0.19ポイント」の改善。 （コンクリート強度が13.5N/mm²を下回っているため、改築（建て替え）は必要。）

	ｿﾞｰﾝXa 長辺壁柱	ｿﾞｰﾝXbc 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝXd 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝYa 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝYb 壁中部柱	ｿﾞｰﾝYc 長辺壁柱	ｿﾞｰﾝYd 短辺壁柱	ｿﾞｰﾝYe 増築部壁
2階	1.01	0.93	0.77 (+0.19)	3.00	2.03	0.79	1.04	
1階	1.17	0.82	1.32	1.88	1.26		1.02	2.20

【今後の対応】

○ Ｉｓ値再調査の結果を、第三者（専門家）から意見聴取。

○ 第三者（専門家）からの意見聴取の結果を踏まえて、更なる安全対策（各教室の配置や使用頻度の見直し、避難経路の再確認等）を検討。